

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第30期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社ツヴァイ

【英訳名】 ZWEI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮 武 正 容

【本店の所在の場所】 東京都中央区銀座五丁目9番8号

【電話番号】 03-6858-6544

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 福 島 徹

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座五丁目9番8号

【電話番号】 03-6858-6544

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 福 島 徹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 累計期間(参考)	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年2月21日 至 平成25年2月28日
売上高 (千円)	2,055,252	2,096,701	4,298,020
経常利益 (千円)	144,507	135,096	365,179
四半期(当期)純利益 (千円)	71,250	76,276	193,602
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		172,015	433,070
純資産額 (千円)	3,710,760	4,046,198	3,985,370
総資産額 (千円)	4,637,624	4,967,536	4,975,962
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	18.27	19.56	49.65
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	18.09	19.31	49.12
自己資本比率 (%)	79.5	80.9	79.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	254,562	24,446	178,129
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	34,885	143,784	254,813
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	116,992	116,991	117,025
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,426,769	2,014,383	2,250,030

回次	第29期 第2四半期 会計期間(参考)	第30期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年5月21日 至 平成24年8月20日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.27	14.69

- (注) 1. 第29期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第29期第2四半期累計期間については、提出会社の主要な経営指標等を記載しております。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第29期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第29期第2四半期累計期間の四半期包括利益は記載しておりません。
4. 平成24年5月11日開催の第28期定時株主総会決議により、決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。従って、第29期は平成24年2月21日から平成25年2月28日の12ヶ月8日となっております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

第29期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、業績数値の前年同四半期との比較は行っていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策の効果などを背景に企業収益が改善されるなど景気回復への期待感も徐々に高まってきております。その一方で、景気回復の実感には至っておらず、消費税増税を巡る動きなどの景気を押し下げるリスク要因もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下にあって、当社グループは、「ツヴァイ事業のサービス刷新」「新しい成長への挑戦」「アジアでの事業展開」について重点的に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、20億96百万円、営業利益は95百万円、経常利益は1億35百万円、四半期純利益は76百万円となりました。

事業別の概況は次のとおりであります。

(国内ツヴァイ事業)

国内ツヴァイ事業につきましては、サービスの抜本的な見直しを行いました。平均給与の変化や職種・雇用形態・働き方の多様化などお客さまの変化に対応するために、全ての世代のお客さまが入会しやすい価格設定やそれぞれのお客さまに最適な付加サービスを提案できる商品を販売いたしました。出店につきましては、3月に「ツヴァイ奈良」をイオンのショッピングセンター「ならファミリー」に、6月には「ツヴァイ新宿」を移転活性化いたしました。「ツヴァイ新宿」につきましては、最寄り駅から直結するなどお客さまの利便性の高い立地でチャティオパーティ専用ラウンジや会員様相談機能を充実させた店舗となっております。また、会員様向けサービスとして、会員マイページ上での写真閲覧システムを導入し、ご自宅からもお相手の写真を閲覧できるようになりました。

これらの取り組みにより、第2四半期連結累計期間の新規入会者数は、前期比114.5%となりました。

(チャティオ事業)

パーティ・イベント事業であるクラブチャティオにつきましては、パーティ開催数・パーティ参加人数を大幅増加させ、事業拡大に取り組みました。6月には、新宿ラウンジを開設し、首都圏の強化に取り組みました。また、ヤフー株式会社やfacebook omiaiを運営する株式会社ネットマーケティングとの提携などによる登録会員数の増加に取り組みました。これにより、登録会員数は32,000人を超え、売上高は前期比181.3%となりました。

(ウエディング事業)

ウエディング事業につきましては、3月にイオンモールつくば(茨城県つくば市)に、4月にイオンモール東浦(愛知県知多郡東浦町)にウエディングデスク単独店舗としてそれぞれ出店いたしました。また、結婚式場サイトを運営する株式会社みんなのウエディングと提携をし、ネットの利便性とリアル店舗による安心感により、お客さまがより相談しやすい環境を提供できるようになりました。これにより、成約件数は前期比147.2%となりました。

(海外事業)

タイでの事業につきましては、認知度の向上を図るためにケーブルテレビやラジオなどのメディアを活用し、基礎会員の獲得に取り組みました。パーティ・イベント事業を強化させるために新たな会員組織「Chatii Club」を立ち上げました。また、タイ在住の日本人・日本人駐在員向けのサービスとして、日本のツヴァイ会員様を紹介するサービスを開始いたしました。

(2) 財政状況の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、49億67百万円と前連結会計年度末に比べて8百万円の減少となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億62百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金と関係会社預け金の合計である手元資金が設備投資や税金・配当金等の支払により減少したことによるものであります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億53百万円増加しました。主な要因は、ツヴァイ新宿・ツヴァイ奈良等の移転活性化や新システムの構築などの設備投資により有形固定資産と無形固定資産が増加したこと、また保有株式の時価評価により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、9億21百万円と前連結会計年度末に比べて69百万円の減少となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少しました。主な要因は、税金の支払による未払法人税等の減少と、前受金の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて70百万円増加しました。主な要因は、保有株式の時価評価等による繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、40億46百万円と前連結会計年度末に比べて60百万円増加となりました。主な要因は、配当金支払い等により株主資本が減少したこと、保有株式の時価評価による其他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2億35百万円減少し、20億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、24百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億35百万円、減価償却費74百万円、金銭の信託の減少額58百万円等による資金の増加と、前受金の減少額90百万円と法人税等の支払額1億6百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億43百万円となりました。支出の内訳は、有形固定資産の取得81百万円、無形固定資産の取得1億10百万円、敷金の差入40百万円であり、収入の内訳は、敷金の回収41百万円と保険積立金の解約による収入47百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億16百万円となりました。その内訳は、配当金の支払額であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,400,000
計	14,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,900,000	3,900,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	3,900,000	3,900,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1 日～平成25年8 月31日		3,900,000		444,000		450,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5-1	2,546	65.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代 理人 株式会社みずほ銀行)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSA CHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島四丁目16-13)	100	2.56
ツヴァイ社員持株会	東京都中央区銀座五丁目9-8	55	1.41
ミニストップ株式会社	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地	50	1.28
イオンフィナンシャルサービス 株式会社	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地	30	0.76
イオンディライト株式会社	大阪府大阪市中央区南船場二丁目3番2号	30	0.76
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6-1	24	0.62
和田昌彦	東京都中央区	20	0.52
マックスバリュ西日本株式会社	広島市南区段原南一丁目3-52	20	0.51
株式会社コックス	東京都中央区日本橋浜町一丁目2-1	20	0.51
計		2,895	74.24

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,898,400	38,984	
単元未満株式	普通株式 1,400		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,900,000		
総株主の議決権		38,984	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式77株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株 式) 株式 会社ツヴァイ	東京都中央区銀座五丁目9 番8号	200		200	0.00
計		200		200	0.00

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりであります。

(1) 役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役	専務取締役 (営業担当)	池田 晃	平成25年6月24日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、平成25年2月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、以下に掲げる四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書については、前第2四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．決算期変更について

平成24年5月11日開催の第28期定時株主総会における定款一部変更の決議により、決算期を2月20日から2月末日に変更いたしました。

従って、前連結会計年度及び前事業年度は平成24年2月21日から平成25年2月28日までの12ヶ月8日となっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,030	564,383
売掛金	449,458	464,602
前払費用	68,201	87,207
関係会社預け金	¹ 1,900,000	¹ 1,450,000
繰延税金資産	16,171	16,637
金銭の信託	² 240,128	² 182,000
その他	17,286	14,517
貸倒引当金	2,772	2,876
流動資産合計	3,038,504	2,776,472
固定資産		
有形固定資産	237,506	280,528
無形固定資産	112,107	183,976
投資その他の資産		
投資有価証券	925,345	1,112,838
敷金	356,297	355,915
保険積立金	304,883	257,579
その他	1,317	226
投資その他の資産合計	1,587,843	1,726,560
固定資産合計	1,937,458	2,191,064
資産合計	4,975,962	4,967,536
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,690	73,338
未払金	94,004	66,451
未払費用	99,423	136,263
未払法人税等	110,777	72,479
未払消費税等	18,821	9,180
前受金	177,591	87,160
賞与引当金	13,106	22,290
役員業績報酬引当金	28,670	10,335
設備関係未払金	2,094	2,998
その他	6,528	6,085
流動負債合計	626,708	486,584
固定負債		
退職給付引当金	55,387	58,913
繰延税金負債	231,542	292,799
資産除去債務	60,692	66,780
長期未払金	16,260	16,260
固定負債合計	363,883	434,753
負債合計	990,591	921,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金	450,000	450,000
利益剰余金	2,494,413	2,453,698
自己株式	344	344
株主資本合計	3,388,068	3,347,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546,646	667,767
為替換算調整勘定	13,676	3,340
その他の包括利益累計額合計	560,322	671,107
新株予約権	21,932	27,737
少数株主持分	15,046	-
純資産合計	3,985,370	4,046,198
負債純資産合計	4,975,962	4,967,536

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	2,096,701
売上原価	993,154
売上総利益	1,103,546
販売費及び一般管理費	¹ 1,008,280
営業利益	95,266
営業外収益	
受取利息	2,467
受取配当金	14,819
為替差益	21,180
その他	2,016
営業外収益合計	40,484
営業外費用	654
経常利益	135,096
税金等調整前四半期純利益	135,096
法人税、住民税及び事業税	68,689
法人税等調整額	5,581
法人税等合計	63,107
少数株主損益調整前四半期純利益	71,988
少数株主損失()	4,288
四半期純利益	76,276

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,988
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	121,120
為替換算調整勘定	21,093
その他の包括利益合計	100,026
四半期包括利益	172,015
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	187,061
少数株主に係る四半期包括利益	15,046

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年3月1日
至平成25年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	135,096
減価償却費	74,763
貸倒引当金の増減額（は減少）	104
賞与引当金の増減額（は減少）	9,184
役員業績報酬引当金の増減額（は減少）	18,335
退職給付引当金の増減額（は減少）	3,529
受取利息及び受取配当金	17,286
為替差損益（は益）	21,180
売上債権の増減額（は増加）	15,144
前払費用の増減額（は増加）	19,073
金銭の信託の増減額（は増加）	58,128
その他の流動資産の増減額（は増加）	2,236
営業債務の増減額（は減少）	2,351
未払金の増減額（は減少）	18,990
未払費用の増減額（は減少）	36,850
未払消費税等の増減額（は減少）	9,640
前受金の増減額（は減少）	90,349
その他の流動負債の増減額（は減少）	1,119
その他	6,522
小計	112,944
利息及び配当金の受取額	17,802
法人税等の支払額	106,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	81,143
無形固定資産の取得による支出	110,278
敷金の差入による支出	40,964
敷金の回収による収入	41,297
保険積立金の解約による収入	47,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	143,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	116,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	116,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	682
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	235,647
現金及び現金同等物の期首残高	2,250,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,014,383

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
1 関係会社預け金は、イオン株式会社との金銭消費寄託契約に基づく寄託運用預け金等でありませ	1 同左
2 サービス未提供部分の前受金を保全するため、金融機関に金銭の信託をしているものでありませ	2 同左

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
賞与引当金繰入額	18,876千円
役員業績報酬引当金繰入額	10,335千円
退職給付費用	9,121千円
貸倒引当金繰入額	833千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金	564,383千円
関係会社預け金	1,450,000千円
現金及び現金同等物	2,014,383千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	116,991	30	平成25年2月28日	平成25年4月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	19円56銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	76,276
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	76,276
普通株式の期中平均株式数(株)	3,899,723
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	19円31銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	49,587
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月9日

株式会社ツヴァイ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 岡 雅 信 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池 田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツヴァイの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツヴァイ及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。